



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 今井廣史 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	169,031	1.4	17,979	△9.7	20,273	△6.4	14,549	1.5
30年3月期第2四半期	166,672	18.9	19,907	50.6	21,659	79.0	14,341	77.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 14,597百万円 (△23.9%) 30年3月期第2四半期 19,180百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	65.98	65.89
30年3月期第2四半期	64.60	64.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	439,158	267,570	60.3
30年3月期	440,519	259,940	58.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 264,681百万円 30年3月期 257,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
31年3月期	—	9.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△3.8	32,000	△17.7	34,000	△16.9	24,000	83.8	109.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	237,075,556株	30年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	18,576,642株	30年3月期	15,054,569株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	220,511,496株	30年3月期2Q	221,999,195株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成30年10月31日(水)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、米国政権の通商政策に端を発した貿易摩擦の激化など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,690億31百万円となり、前年同期に比べて23億59百万円の増収となりました。また、営業利益は179億79百万円と前年同期に比べて19億27百万円の減益、経常利益は202億73百万円と前年同期に比べて13億86百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は145億49百万円と前年同期に比べて2億8百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内販売は堅調に推移し、また海外子会社の売上高も前年同期を上回りましたが、輸出版売は安価な天然ゴムの影響で市場価格が低迷し、前年同期を下回りました。その結果、全体では売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益では前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、輸出における手袋用ラテックス販売が一時低調であったことなどから、売上・営業利益とも前年同期を下回りました。

化成品関連では、国内販売・輸出・タイ子会社とも堅調に推移し、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格の上昇局面での転嫁時間差の影響を受けたため、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて17億75百万円増加し1,002億24百万円、営業利益は前年同期に比べて18億48百万円減少し95億45百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学・医療用途の販売が堅調に推移しました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムとモバイル向け光学フィルムともに顧客の在庫調整の影響を受けました。この結果、高機能樹脂および部材事業全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

情報材料関連では、電子材料の売上高は前年同期を下回りましたが、トナーおよび電池材料の売上高が堅調に推移した結果、全体の売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

化学品関連では、特殊化学品、合成香料ともに販売が堅調に推移し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて6億80百万円減少し424億11百万円、営業利益は前年同期に比べて5億53百万円増加し87億45百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期に比べて14億3百万円増加し275億65百万円、営業利益は前年同期に比べて3億55百万円減少し12億65百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、13億61百万円減少し、4,391億58百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、現金及び預金の減少等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、89億91百万円減少し、1,715億88百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、社債の償還等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、76億29百万円増加し、2,675億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月27日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,666	35,727
受取手形及び売掛金	75,787	78,079
電子記録債権	3,557	3,481
商品及び製品	45,448	49,612
仕掛品	4,689	3,888
原材料及び貯蔵品	13,759	14,682
未収入金	36,241	36,895
その他	3,810	4,373
貸倒引当金	△97	△95
流動資産合計	224,859	226,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,914	41,179
機械装置及び運搬具(純額)	45,888	42,945
土地	18,246	18,228
建設仮勘定	5,285	4,398
その他(純額)	4,225	3,996
有形固定資産合計	115,559	110,746
無形固定資産		
その他	3,355	3,101
無形固定資産合計	3,355	3,101
投資その他の資産		
投資有価証券	87,362	89,415
繰延税金資産	886	797
その他	8,726	8,686
貸倒引当金	△228	△230
投資その他の資産合計	96,746	98,669
固定資産合計	215,660	212,516
資産合計	440,519	439,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,103	83,746
電子記録債務	2,900	3,500
短期借入金	16,573	14,766
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,920	4,392
賞与引当金	2,160	1,613
修繕引当金	1,989	4,720
その他の引当金	42	43
その他	19,576	17,864
流動負債合計	139,264	130,644
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	10,060	10,779
退職給付に係る負債	12,181	12,348
その他の引当金	1,359	127
その他	5,715	5,690
固定負債合計	41,315	40,944
負債合計	180,579	171,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,240	19,240
利益剰余金	190,273	202,825
自己株式	△12,245	△17,238
株主資本合計	221,480	229,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,771	35,053
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	3,925	2,507
退職給付に係る調整累計額	△2,008	△1,920
その他の包括利益累計額合計	35,687	35,642
新株予約権	246	269
非支配株主持分	2,527	2,619
純資産合計	259,940	267,570
負債純資産合計	440,519	439,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	166,672	169,031
売上原価	117,145	119,745
売上総利益	49,528	49,286
販売費及び一般管理費	29,621	31,307
営業利益	19,907	17,979
営業外収益		
受取利息	53	69
受取配当金	1,219	1,276
為替差益	606	847
持分法による投資利益	133	124
雑収入	302	348
営業外収益合計	2,312	2,664
営業外費用		
支払利息	172	112
休止固定資産減価償却費	263	120
雑損失	126	139
営業外費用合計	560	371
経常利益	21,659	20,273
特別利益		
投資有価証券売却益	30	—
固定資産売却益	0	7
抱合せ株式消滅差益	67	—
特別利益合計	97	7
特別損失		
固定資産処分損	268	232
退職給付制度終了損	501	—
その他	25	20
特別損失合計	794	252
税金等調整前四半期純利益	20,961	20,027
法人税等	6,446	5,280
四半期純利益	14,515	14,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,341	14,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	14,515	14,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,727	1,282
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	△1,511	△1,453
退職給付に係る調整額	425	88
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△70
その他の包括利益合計	4,666	△150
四半期包括利益	19,180	14,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,954	14,505
非支配株主に係る四半期包括利益	226	92

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,961	20,027
減価償却費	9,713	9,087
のれん償却額	335	41
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△905	207
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△22	1,479
受取利息及び受取配当金	△1,272	△1,344
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56	△534
支払利息	172	112
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,724	△3,063
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,457	△4,835
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,806	3,820
その他	932	△1,902
小計	30,399	23,093
利息及び配当金の受取額	1,412	1,500
利息の支払額	△169	△132
保険金の受取額	—	501
法人税等の支払額	△5,418	△5,680
その他	164	374
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,388	19,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,657	△5,397
無形固定資産の取得による支出	△624	△341
貸付けによる支出	△595	△1,210
貸付金の回収による収入	577	879
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,118	△755
長期前払費用の取得による支出	△556	△135
その他	148	△337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,824	△7,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,041	△158
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入金の返済による支出	△2,713	△1,562
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△2	△5,000
配当金の支払額	△1,806	△1,995
非支配株主への配当金の支払額	△67	△16
その他	129	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,918	△18,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	132	△145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,778	△6,596
現金及び現金同等物の期首残高	11,368	39,791
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	0	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	284	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,430	33,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	97,556	43,091	140,647	26,025	166,672	—	166,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	894	—	894	136	1,030	△1,030	—
計	98,449	43,091	141,541	26,161	167,702	△1,030	166,672
セグメント利益	11,394	8,193	19,586	1,621	21,207	△1,300	19,907

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,300百万円は、セグメント間取引消去△15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,286百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
金額的重要性が乏しいため、記載は省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,217	42,411	141,628	27,402	169,031	—	169,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,007	—	1,007	162	1,169	△1,169	—
計	100,224	42,411	142,635	27,565	170,200	△1,169	169,031
セグメント利益	9,545	8,745	18,291	1,265	19,556	△1,577	17,979

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,577百万円は、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,618百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。